

(別紙)

川崎駅周辺地区スマートコミュニティ事業

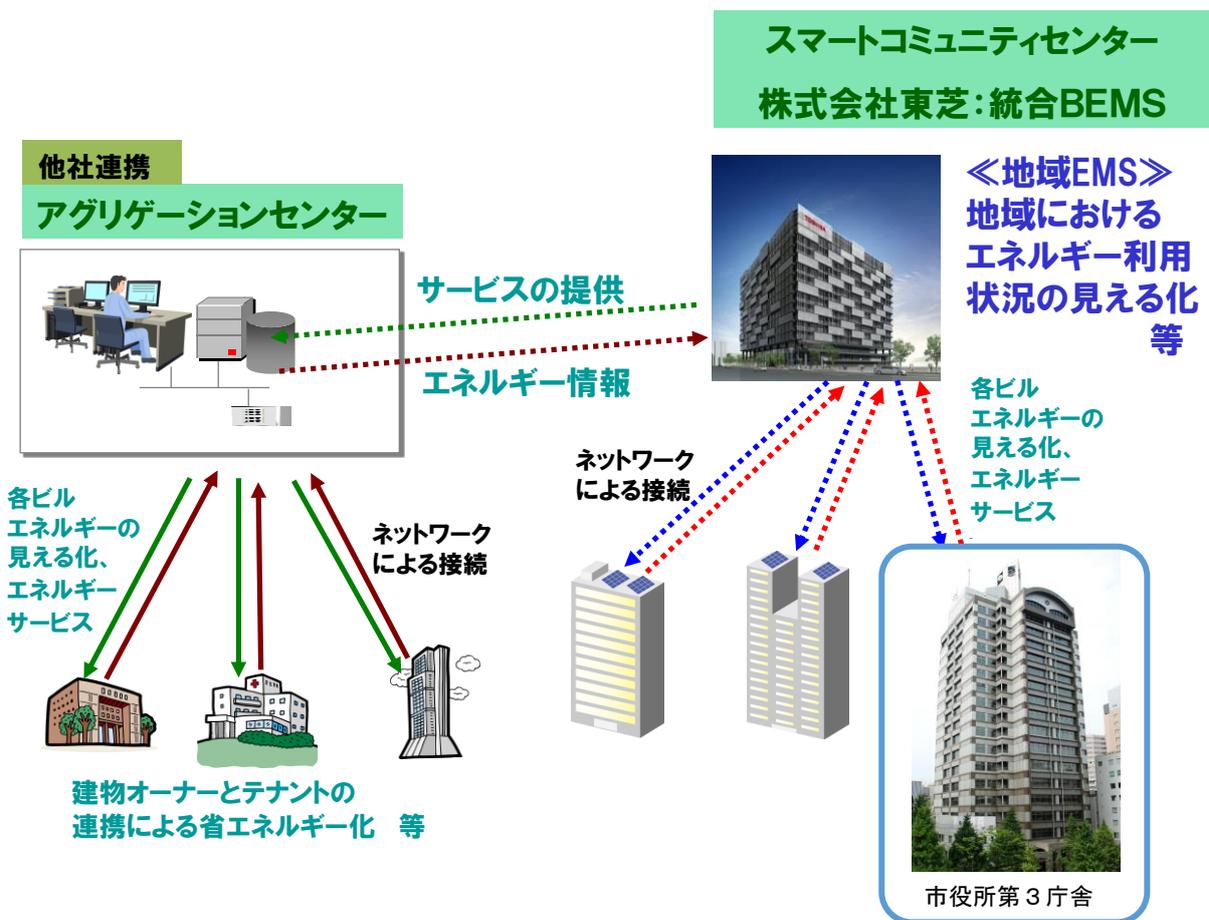
川崎駅周辺地区では、エネルギーの効率的な利用をはじめ、市民生活等の利便性・快適性の向上、安全・安心の確保を目指した既成市街地におけるスマートコミュニティの実現に向けて、学識経験者、地元地権者、市民等で構成する事業委員会を立ち上げ、その実現に向けた取組を進めています。

【主なプロジェクト】

○地域主体のエネルギーマネジメントに係る実証事業

「統合BEMSによるビル群エネルギー管理サービス」(東芝)

▶地区内の複数の施設に対してエネルギー管理サービスを統合的に実施



○川崎スマートEVバスの導入(平成27年4月運行開始)

▶環境負荷の低減や情報発信機能の強化などに資する

「川崎スマートEVバス」を、川崎鶴見臨港バスと川崎市が連携して「川崎病院線」へ導入

▶主なスマート機能

- ・利用者乗降及び属性把握機能
- ・車内に設置したデジタルサイネージによる情報配信
- ・災害時対応として、車内のコンセントから給電可能

▶EVバスシステムとスマートソリューションについては東芝の提供



川崎スマートEVバス